

玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	心不全外来における薬剤師による心不全薬物治療に対する介入実態とその効果の調査
当院の研究責任者（所属）	大舘 祐佳（玉川病院 薬剤科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	心不全とは、心臓のポンプ機能が低下して全身に十分な血液を送り出すことができなくなった結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、日常の活動が妨げられてしまう状態のことを言います。 心不全の様々な治療指針において、4種類の薬が重要とされており、特に心臓機能が低下した患者様に対して「可能な限りこの4種類を併用すること」、「薬を目標の用量まで増量すること」が推奨されています。（以下で、これを「推奨治療」と示します。）この推奨治療は心不全患者様の死亡率減少や、他の心臓血管病の併発率減少、再入院率減少も期待できることがわかってきており、この推奨治療を実践していくことが重要であるとされています。また心臓機能が低下していない患者様であっても、その程度などに応じて導入を慎重に検討していく必要があります。 しかし実際には日本を含む世界の医療現場で、この推奨治療が実践できない場面が多いということも明らかになってきています。 当院の心不全外来では、看護師と薬剤師がともに診察前面談を行っています。薬剤師は患者様ごとに4種類の薬の使用状況を点数化し、面談内容と併せて医師と協議することで、推奨治療の実践につなげる取り組みを進めています。また、薬による副作用の有無、飲み合わせの確認などの他、必要以上に多くの薬を漫然と継続してしまう状況を防ぐための処方内容の見直しにも努めています。 本研究では、薬剤師が介入した心不全外来と介入していない通常外来を比較して、推奨治療の実践率や患者様の治療状況にどのような変化があるかを検証し、心不全患者様のより適切な疾患管理に役立てることを目的としています。
医学並びに社会への貢献度の予測について	本研究結果を学会および論文で公表することにより、慢性心不全における適切な疾患管理に対する薬剤師の更なる貢献の一助になると

	思われます。
調査データの該当期間	2025 年倫理委員会承認日 ～ 2025 年 7 月
研究の方法（対象となる方）	2021 年 4 月以降、当院で心不全治療のため入院した患者のうち、退院後心不全治療の目的で循環器内科外来、または心不全外来に通院している患者
研究の方法（使用する情報）	各調査項目について当院の電子カルテから情報収集を行います。本研究では、対象患者様の性別、年齢、身長、体重、喫煙・飲酒歴、併存疾患のほか、対象薬剤の使用実態として、薬剤名、用量、用法、使用日数や併用率、薬剤選択の理由、有害事象、薬剤師の関与についての情報を用います。また、導入推奨薬剤の使用状況を点数化し、評価を行います。有効性と安全性の評価では、関連する各種生化学検査値や生理検査値を用います。
試料/情報の他機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特約できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会発表や論文化での公表を予定していますが、その際も対象患者様を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：03-3700-1151 担当者：薬剤科 大舘 祐佳
備考	なし